

岩手山の火山活動解説資料（平成 25 年 10 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はみられず、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2①）

柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、黒倉山山頂から 30 m 以下の噴気を観測しましたが、岩手山山頂と大地獄谷で噴気は観測されず、噴気活動は低調に経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2②～⑤）

26 日に山頂直下付近のやや深いところを震源とする低周波地震がまとまって発生しましたが、火山性地震は少ない状況で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 岩手山 黒倉山の噴気の状況（10 月 18 日 16 時 40 分頃）

- ・ 柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラで黒倉山の山頂部を拡大した映像です。
- ・ 赤丸実線で囲んだのが、黒倉山山頂の白色噴気で高さ 30m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 11 月分）は平成 25 年 12 月 9 に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

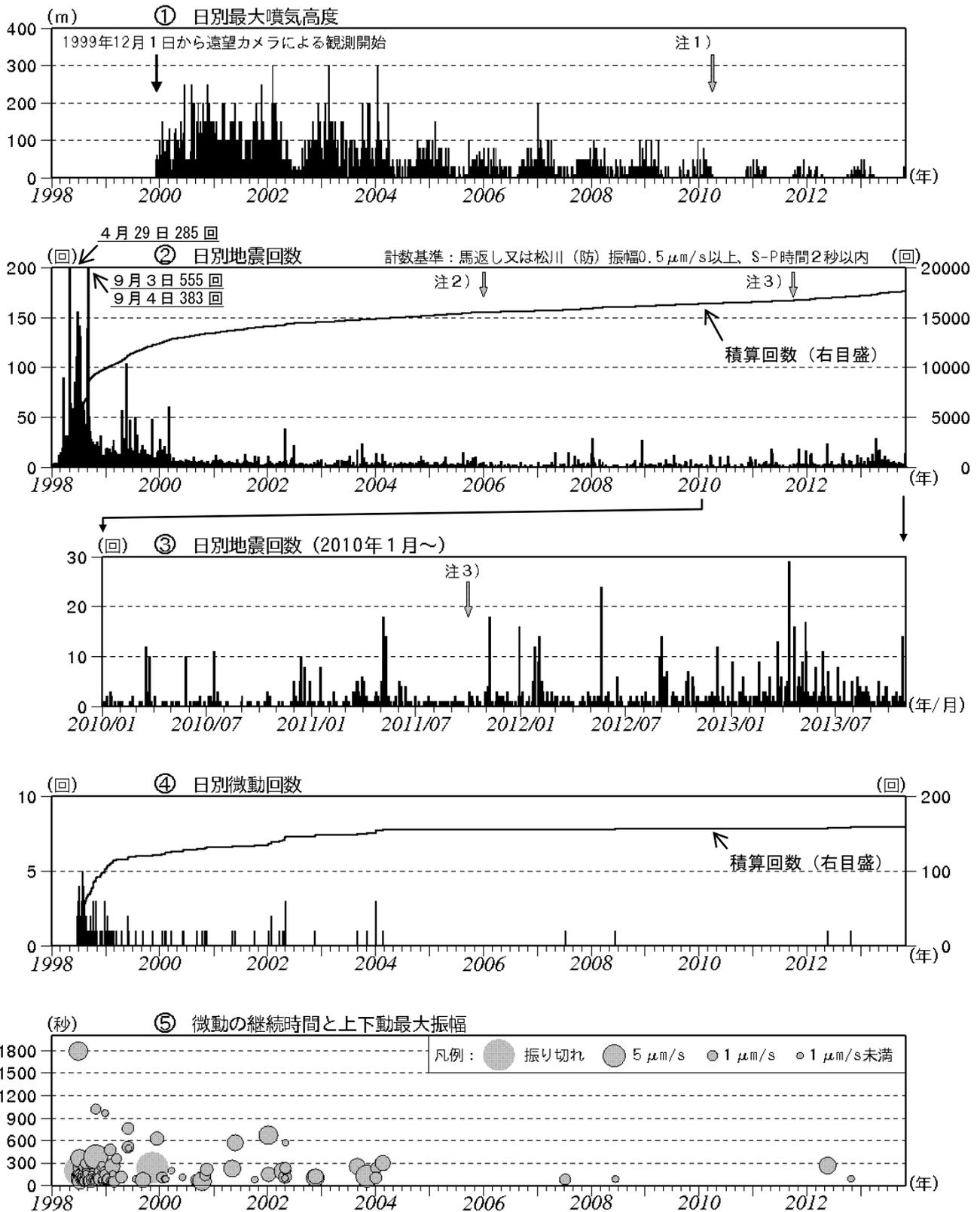


図2 岩手山 火山活動経過図 (1998年1月~2013年10月)

- ・①注1) 2010年3月までは黒倉山のみの観測を、2010年4月1日以降は岩手山全体を観測しています。
- ・②~⑤基準観測点の変更は次のとおりです (角カッコ内は地震回数の計数基準)。
 観測開始 1998年1月1日 ~ 東北大学松川観測点 [振幅 $1.0\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2秒以内]
 注2) 2006年1月1日~ 焼切沢観測点 [振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2秒以内]
 注3) 2011年10月1日~ 馬返し観測点、及び防災科学技術研究所松川観測点
 [振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2秒以内]
- ・②③2000年1月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した回数です。
 (1998年から1999年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震も含まれます)

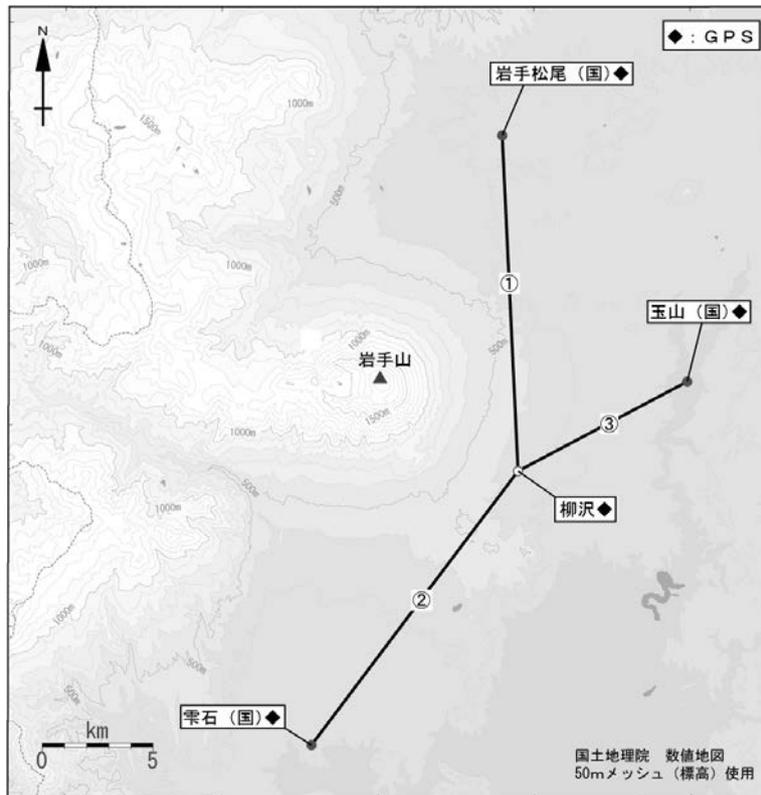


図3 岩手山 GPS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国) : 国土地理院

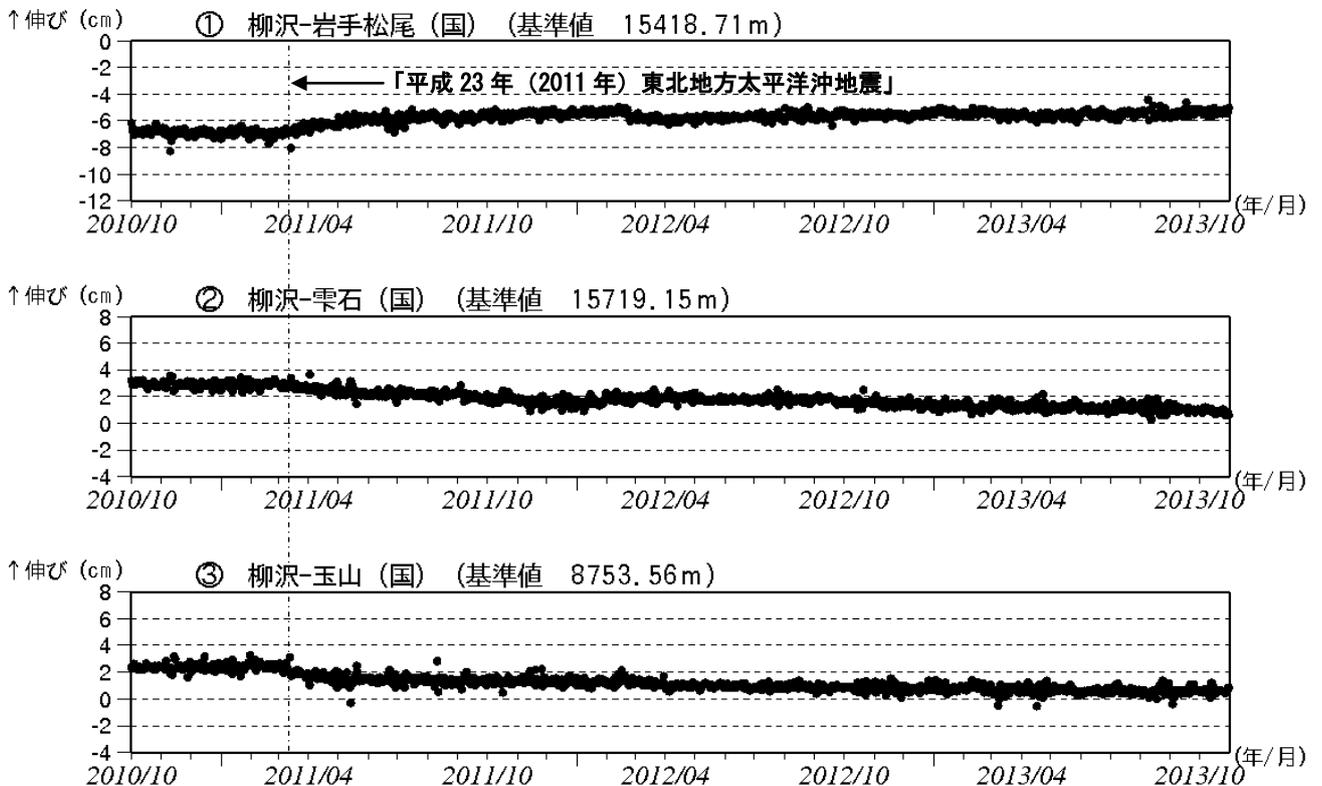


図4 岩手山 GPS 基線長変化図 (2010 年 10 月～2013 年 10 月)

- ・ 2011 年 3 月 11 日以降の変動は、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」による影響で、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～③は図3の GPS 基線①～③に対応しています。
- (国) : 国土地理院

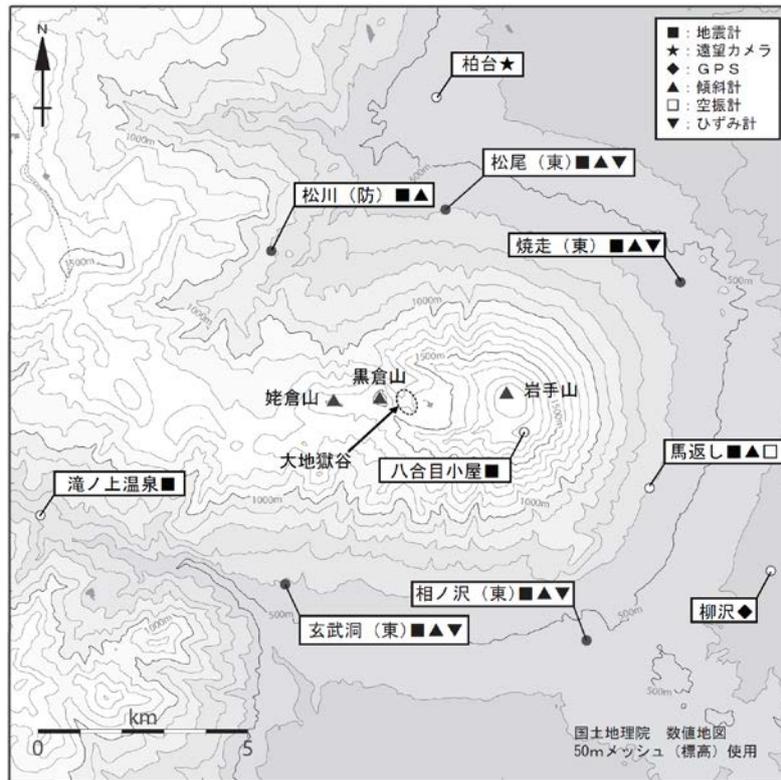


図5 岩手山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学 (防) : 防災科学技術研究所